

## 強い結束を！－工学部創立100周年に向けて－

福井大学工業会理事長 堀 照夫

福井大学工学部は前身である福井高等工業学校設立から数えて、2023年12月で100年になります。この節目に他大学工学部に相当する事業を行うべく工学部ではすでに委員会を設置し、準備を開始しています。日本海側では最大規模の福井大学工学部です。相応の事業をやるべきで、工業会もしっかりタッグを組んで、と思っております。

福井大学の優れた教育・研究・社会貢献の実績は、繊維、建築、機械、電気、原子力などの各産業分野で優れた研究および教育実績を積み上げ、それぞれの業界に大いに貢献し、中でも就職率の高さ、離職率の低さは特筆に値します。

18歳年齢の若者が減少し、大学の統廃合も進められる中、昨年度から、工学部教員のご指導の下、建築・建設学科の3年次生を対象に、学内の施設整備などについて、「100周年事業記念コンペ」を実施し、素晴らしい提案を多数いただいております。優秀者の表彰も行い、機運を高めております。

信州大学、山形大学での100周年記念式典には私も招待され、その盛り上がりで感動を覚えました。両大学ともこれを実行するにあたり卒業生や新旧教員などから多額の寄附金を集め、大学敷地内に記念会館を建設するなど、その実績をしっかりと残されています。同様に金沢大学では今年、静岡大学は来年、また新潟大学では再来年にそれぞれ100周年を迎えます。これらの3大学ではすでに同窓会誌に記念事業の案内を掲載し、寄附金の募集を呼び掛けております。ちなみに新潟大学および静岡大学の寄附金目標額はそれぞれ3億円および10億円となっています。

工業会としましては、現在の貯えの中から100周年記念事業に対する応分の寄附金への積立を本年度から開始することを計画しております。工業会として、福井大学の更なる飛躍を支えるべく、今後4年間、会員の皆様にも記念事業への寄附をお願いすることになると思っております。皆様の絶大なるご支援を期待しております。

明治32年(1899年)公布の「実業学校令」は、日本の産業界の著しい発展に対応すべく人材育成と教育環境整備を目的にしたものでした。日本各地に高等工業学校などが設立され、第1号は1901年の設立の東京高等工業学校(後の東京工業大学;その前身は1881年設立の東京職工学校)で、同じ年に大阪では、大阪高等工業学校(後の大阪大学工学部;前身は1896年設立の大阪工業学校)が設立されました。1902年京都高等工芸学校(後の京都工芸繊維大学)、1905年名古屋高等工業学校(後の名古屋工業大学)、熊本(1906)、仙台(1906)、米沢(1910)、上田(1910 養糸専門学校)、秋田(1910 鉱山専門学校)、桐生(1915 高等染織学校)、横浜、広島、1920年金沢工業高等学校、九州(明治専門学校;後の九州工業大学)、千葉、神戸、浜松、徳島と設立されました。

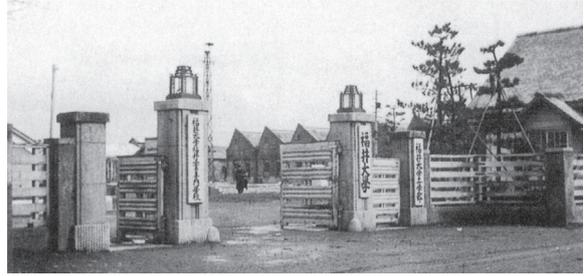
福井には、1923年12月に福井高等工業学校が設立されました。その後も、山梨、室蘭、盛岡、多賀(茨城)、大阪(後の大阪府立大)、宇部、新居浜、久留米(後の九州大学工学部)、長野、高岡、和歌山、彦根にも設立され、他に公立や私立の高等工業学校も多数設立されました。

昭和19年 高等工業学校は工業専門学校と改称され、昭和22年の「学制改革」により新制国立大学が設置されると大学の工学系学部へと移行し、その地域の産業界を支えるべく、研究や人材育成を進めて来ました。それぞれの大学の工学部は日本の近代化の柱となった産業界を支えてきたのです。山形大学工学部(米沢)、信州大学繊維学部(上田)、群馬大学工学部(桐生)などはその歴史の中で、すでに100周年記念事業を終えております。

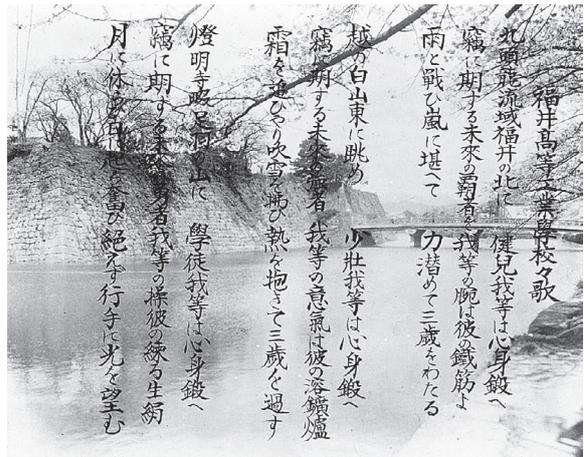
# 工学部100年への足跡 (福井高等工業・工業専門学校 回想)



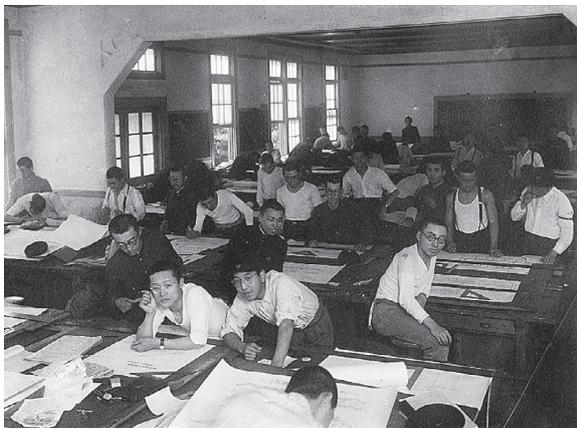
福井高等工業学校初代校長“關 盛治先生鏡像”



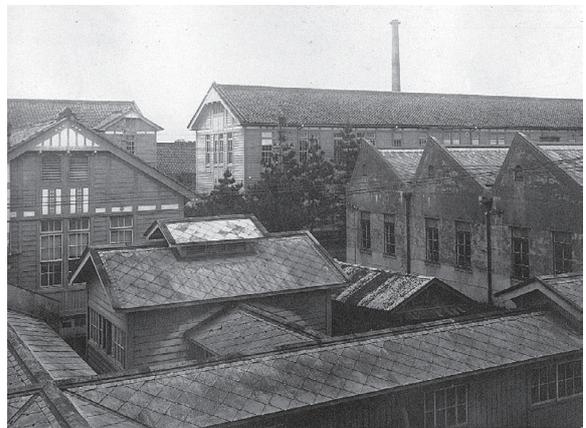
(S25年頃) 工専・大学 正門



福井高等工業学校 校歌



建築科製図室



大教室建築科本館を望む



軍事訓練 六呂師高原演習場



体操 (これが体位向上になるそうな)